

学校法人専修大学中期計画(2021年度～2025年度)

学校法人専修大学は、21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」のもと、教育・研究活動に取り組むとともに、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭に大学運営を行っています。

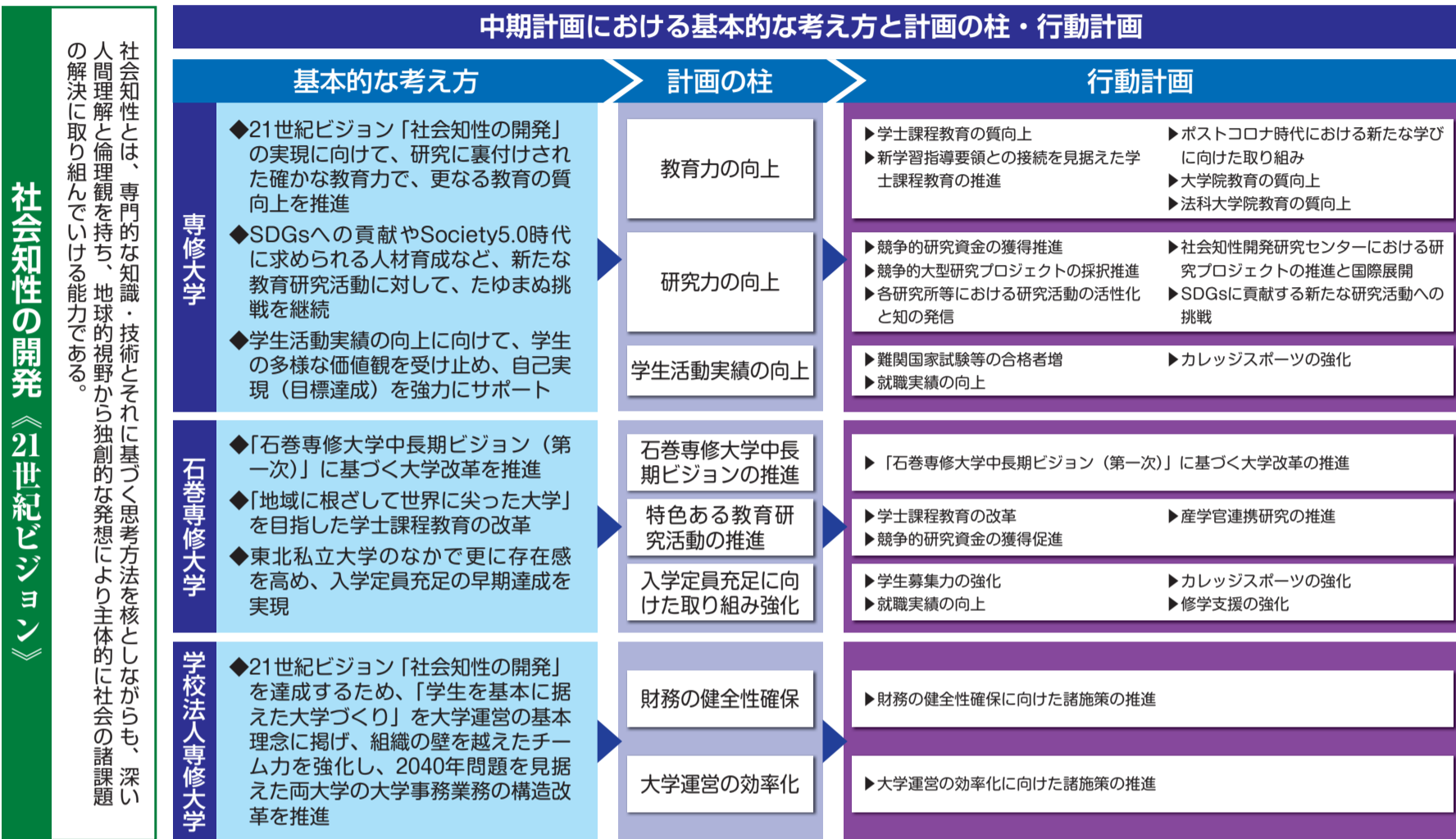
本法人は、「学校法人専修大学中期計画(2021年度～2025年度)」を策定し、2021年2月26日開催の理事会及び評議員会において承認されました。

本中期計画の策定にあたっては、18歳人口の更なる減少が加速する20年後(2040年頃)においても、専修大学及び石巻専修大学が力強く持続的な発展を遂げ、社会の屋台骨を支える有為な人材を輩出している姿を想い描き、その実現に向けた布石を打つための5年間の計画と位置付けて構想しました。加えて、前期中期計画(2016年度～2020年度)により整備した大学基盤をもとに発展させるべき事業やポストコロナ時代における新たな学びへの取り組みについても取り入れています。

本中期計画では、「中期計画の概要」に示すように「専修大学」「石巻専修大学」「学校法人専修大学」のそれぞれに今後の大学運営において注力する「計画の柱」を設定し、その下に具体的に取り組む「行動計画」を設けています。

今後、大学間の競争は従来にも増して激化します。専修大学及び石巻専修大学がこの厳しい環境を切り抜けていくためには、教育・研究の質を高め日本国内のみならず世界において存在感のある大学になることを目指さなければなりません。2021年度からの5年間は本中期計画に基づき、年次毎の事業計画を策定し着実に21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」を推進してまいります。

【中期計画の概要】



社会知性とは、専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核としながらも、深い人間理解と倫理観を持ち、地球的視野から独創的な発想により主体的に社会の諸課題の解決に取り組んでいける能力である。

社会知性の開発《21世紀ビジョン》

2021(令和3)年度事業計画

学校法人専修大学の「2021(令和3)年度事業計画」は、「学校法人専修大学中期計画(2021年度～2025年度)」とともに2021年2月26日開催の理事会及び評議員会において承認されました。

2021年度事業計画は、中期計画の実質化に向けた1年目の施策と未だ収束の兆しがみえない新型コロナウイルス感染症への対応の2点を念頭に置いて策定しました。また、中期計画と年度毎に策定する事業計画の連関性をより明確にするため、事業計画における各事業を「重点施策」と「基本施策」に整理しています。

本事業計画の重点施策として、教育の質向上及び研究の活性化とともに、学生の活動実績が向上するよう支援強化に取り組みます。さらに財務基盤の強化も推進します。新型コロナウイルス感染症への対応については、専修大学及び石巻専修大学ともに対面による授業の実施を拡大させることから、学生・教職員が安心・安全に学べる環境整備を引き続き進めるとともに、オンラインによる授業実施に関わる支援や施設整備を推進します。なお、本事業計画の詳細については、QRコードを読み取り、対象ページにアクセスすることで、ご覧になれます。

